

留学体験レポート

国際文化学科 国際学部 野口大貴

私が現地で感じたことをいくつか紹介したいと思います。

中国では恋愛についての考えかたや文化が日本とまるでちがうと感じました。中国では基本的に大学生までは恋愛を教師や両親が許さない場合がほとんどです。何故かと言えば中国では人口増加に伴い就職における倍率が半端ではありません。日本でも人気の公務員ですが、私の中国人の友人が受けた際の公務員試験の倍率というものは100倍をこえていました。この様な競争社会が激化している一方で、中国という国には日本程社会保障が充実していないのも競争率が激化している原因の一因であります。中国では幼い頃から本人ではなく両親が徹底的に教育をさせる場合が日常的に多くあります。中国の友人の高校時代の思い出を聞いた際にはほんの一部を除き大半の友人は勉強した思い出しかないと言っていました。もしも恋愛しているのが見つかるとなれば教師や親は別れさせようとしてきます。しかし目的の大学試験に合格すると裏を返したように「まだ彼氏つくりませんか?」と聞いてくるそうです。友人曰く親も付き合っただけでなくそれ以上にいい大学にいけなかった場合、中国という社会ではいい職業に就くということが大変なのではなく不可能に近いのだと言っていました。大学内では勉強から開放され念願の恋人を手にした人達が授業が終わると寮へは異性は入れない為、夜遅くまで公園のベンチで人目を気にせずいつまでもキスをしています。我々日本の常識からすれば公共の場ではあまり相応しいこととはいえませんが友人曰くそうでもしないと場所がないのだそうだ。中国の大都市ではほぼ全ての人がマンションかアパートに住んでいるためやはり街中でもこの様な光景が多く見られた。しかし流石に混雑したコンビニの列に並んでいた時に目の前で年のいった夫婦にみせられた時は流石の私ももう少しモラルを持つべきなのではないかと感じたと同時にここが日本ではないのだと改めて実感させられたのだ。私は中国では非日本的な場面を数多く発見することができた。留学をとおして語学だけでなくあらゆる面において学ぶことができたと感じている。また一定期間家族や日本の友人と離れることで改めて大切さというものを認識することができたといえます。決して安い金額ではありませんが留学先での自身の行動次第ではありますが借金をしてでも行く価値は十分にあると思います。悩んでいるならば行くべきです。そして本当にいってよかったです。金銭面で援助してくれた両親には感謝しています、ありがとうございました。

